

神戸常盤大学 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム
 【ときわ M'(MDASH)】
 令和 4 年度 自己点検・評価

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等	
学内からの視点	プログラムの履修・修得状況	ときわ教育推進機構・IR室において、本プログラムの履修・修得・評価情報の収集と分析を実施し、分析結果に基づき教職員W.G.が各授業科目の改善を行っている。 「情報基礎」「情報メディア演習」「基礎統計学」の講義は令和8年度より全学で必修化するため、そのための全学的にカリキュラムの調整等にすでに着手している。
	学修成果	令和4年度に行った「情報基礎」の成績評価の平均は78.4点、「情報メディア演習」の平均は81.6点、「基礎統計学」の平均は75.2点、「プログラミング入門」の平均は72.4点であった。 また、学生による授業評価では、5点満点中、「情報基礎」は4.4点、「情報メディア演習」は4.6点、「基礎統計学」は4.1点、「プログラミング入門」の平均は4.5点であった。 今後は、アセスメント・プランにおける評価項目の一つである「在学生調査」「卒業時調査」において、本プログラムに関する項目を設け、分析することで、本プログラムの評価・改善に活用する。
	学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	本プログラムを構成する授業科目を含んだすべての授業科目を対象に、自己点検・評価委員会が「授業評価アンケート」を実施しており、学生の理解度を分析している。
	学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	「授業評価アンケート」において、本プログラムを構成するすべて授業科目について、学生へのメッセージを作成し、学内に公表することで、下級生の受講モチベーションアップに繋がる体制を講じている。

	<p>全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況</p>	<p>ときわ教育推進機構における継続的な議論を経て、本プログラムを設計、実施した。一部の学科では選択必修ではあるが、令和8年度に予定している基盤教育科目群の見直しで必修化を予定しており、履修者数、履修率の向上にむけて推進している。</p> <p>また、教職員W.G.が継続的に教育内容の見直しを行い、プログラムの質向上にあたっている。</p>
<p>学外からの視点</p>	<p>教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価</p>	<p>アセスメント・プランにおける評価項目の一つである「卒業生調査」「就職先調査」において、本プログラムに関する項目を設け、分析することで卒業生の状況や企業評価を把握する予定である。</p>
	<p>産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見</p>	<p>数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシムからの情報を含め、高等教育業界の情報を積極的に収集し、本プログラムの改善に役立てている。また、教育関連企業とデータドリブン型教育改善に関する共同研究を行うことで、その成果を将来的に本プログラムの改善にフィードバックをする予定である。</p>